

報道関係者各位

2022年7月26日

インフラジスティックス・ジャパン株式会社

インフラジスティックス・ジャパン Infragistics Ultimate 22.1 ツールキットのリリースを発表

～ローコード機能と主要フレームワーク向け UI/UX コントロールを追加～

[インフラジスティックス・ジャパン](#)株式会社（代表取締役：東 賢）は本日、Infragistics Ultimate 22.1 のリリースを発表いたしました。この最新リリースでは、より多くの機能・性能を携えた UI コントロール、より優れたデザインと開発プロセス、そして高速で合理的かつインタラクティブなデータ可視化によりアプリケーション構築プロセスを大幅に改善・向上することが可能になりました。

今回の Infragistics Ultimate 22.1 リリースでは、新しいデータ機能、ツールボックスへのコントロール追加、Blazor/Angular/React/Web Components 向けコード生成機能のアップデート、データ可視化機能の強化などにより、今までのソフトウェア開発をさらに進化させます。



今回のリリースで追加された新機能は以下の通りです。

- [App Builder](#) の Design-To-Code 機能の改善：Swagger UI サポート、ローカルホスト・データアクセス、ビジネスチャート、15 種類のスクリーンレイアウト、新しいデザインシステム UI キットと App Builder ツールボックスへの新しいアドオン他
- [Angular/Blazor/React/Web Components](#) 向けの UI キットと新しいコントロール、新しいテーマ、さらに [Angular ピボットグリッド](#) と [Blazor ドックマネージャー](#) の追加
- すべてのデータ可視化コントロールで UX 機能を強化：新しい標準機能、テーマのアップデート、新しいインタラクションなど

WYSIWYG ローコード IDE の App Builder で機能強化を継続

Infragistics Ultimate 22.1 は、アプリケーションのデザインからコード生成へのプロセスをさらに高速化し、より多くの機能を提供し、開発期間を最大 80%短縮することができます。クラウドベースのローコードツールである App Builder では、Web API や Entity Framework モデルの Swagger 定義とライブデータアクセスを簡単に接続できるようになりました。さらに 12 種類のアプリケーションテンプレートと 15 種類のスクリーンレイアウトを搭載し、ワンクリックでレスポンスなページを構築することができます。Blazor のコード生成機能もアップデートし、クリックインタラクションによるイベントのオープン/クローズおよび表示/非表示をサポートし、データバインドコントロールへのサポートが追加されています。

[App Builder](#) オンプレミス版はローカルネットワークに安全に設置できるため、データとデザインを外部から保護し、実際のデータ（ローカルホスト、オンプレミス、クラウドホスティング）またはアプリケーションデザイン内のスキーマに基づいて自動生成されたモックデータにライブアクセスすることができます。このライブデータアクセスのサポートは、今年初めに機能追加された OData と JSON のデータバインディング機能を元にしており、アプリケーション構築プロセス中に実データへ接続することができます。さらに、App Builder を収録している [Indigo.Design](#) System には、Bootstrap、Fluent、Indigo 用のライトとダークの両方のテーマで Material UI Kit を追加しています。

Blazor/Angular/React/Web Components 向け新コンポーネントと機能強化

ピボットグリッドや Microsoft Excel ライクの様々なグリッドにおけるドラッグ&ドロップ UI、Angular のカスタムサマリー、Blazor 向けのドックマネージャー、トースト、スナックバー、スライダーなど大量のフレームワークコンポーネントでアプリケーション開発をサポートします。

Web Components では、ページネーション、データツールチップとレジェンド、チップコンポーネント、自動ラベルローテーションなどのデータ可視化機能、ラベルギャップ用プロパティ、コールアウトレイヤーの位置調整、スタイルイベントなどが追加されました。

さらに、React では、アバター、バッジ、ボタン、カレンダー、カード、チェックボックス、アイコン、ナビゲーションバーなど、15 種類以上の新しいコントロールが追加されています。

データ可視化機能の進化とチャート機能の追加

ビジネスを行う上では、リアルタイムで大量のデータロードが可能で、美しくインタラクティブなエクスペリエンスを備えたデータ可視化ツールを持つことが非常に重要です。そのため Infragistics Ultimate 22.1 では、性能とユーザーエクスペリエンスにおいて妥協しないチャートとグラフ機能が向上しています。

カテゴリーチャートにおけるルックアンドフィールの調整、フォントとカラーパレット標準機能の改善、マージンにおけるラベルスペース、スプラインレンダリングなどの機能追加が今回のリリースに含まれています。ラベルの自動ローテーション、マージン計算の強化、ラベルギャップのプロパティ、コールアウトレイヤーの位置調整、スタイルイベント、新しいハイライトシリーズモードなど、より多くのチャート機能も利用可能になりました。

Infragistics Ultimate について

[Infragistics Ultimate](#) は、デザイン・開発チーム向けの UX & UI コンポーネント製品のフラッグシップモデルであり、当社のフラッグシップ製品です。Microsoft の Blazor のような新しい Web 開発プラットフォームや、標準ベースの Web Components などのツールを、レガシーな Web 製品からの移行や、デスクトップから Web へのデジタルトランスフォーメーションなど幅広く開発者の皆様に提供いたします。

Infragistics Ultimate 22.1 は、最新のツールや技術を用いてアプリケーションポートフォリオを現代化する開発者をサポートします。

インフラジスティックスについて

[インフラジスティックス社](#)は、UX/UI 開発ツールキットやコラボレーションツールを 30 年以上にわたって全世界で提供しているリーディングカンパニーです。全世界で 200 万人以上の開発者がインフラジスティックスの企業向け UX/UI 開発ツールキットを使用して、クラウド、Web、モバイル、デスクトップ向けの構成のアプリケーションを素早くプロトタイプ化して構築しています。インフラジスティックス社の「[Reveal](#)」はビジネスユーザーが自らビジネスインテリジェンスを可視化できるツールであり、最新アプリケーションの「[App Builder™](#)」は、デザイナーから開発者への[ハンドオフプロセス](#)において、Design-to-Code の高い効率性を提供しています。

ホームページ：<https://jp.infragistics.com>

【お問い合わせ先】

製品に関するお問い合わせ先

インフラジスティックス・ジャパン株式会社 営業部

電子メール: JapanSalesGroup@infragistics.com

TEL: 050-1745-6258 (代表)

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

インフラジスティックス・ジャパン株式会社 マーケティング部

電子メール: JapanPR@infragistics.com

TEL: 050-1745-6258 (代表)